

# 柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会 防災活動連携マニュアル

平成25年3月

(情報更新：令和3年9月16日)

# 目 次

## I. 総論

I-1. 目的 .....	3
I-2. 活動連携方針 .....	4
I-2-1. 災害時の活動連携方針	4
I-2-2. 日常の活動連携方針	4

## II. 緊急対応編

II-1. まちづくり協議会災害対策本部の概要 .....	5
II-2. 災害対策本部の活動内容（ルールと手順） .....	7
II-2-1. 災害対策本部の立ち上げ	8
II-2-2. 本部設置直後の対応	11
II-2-3. 情報収集・集約・連絡・発信	14
II-2-4. 帰宅困難者等への対応	16
II-2-5. 防災資源の融通調整	17
II-2-6. 周辺機関・組織との連携窓口	19

## III. 日常活動編

III-1. 防災安全部会の位置づけ .....	2 2
III-2. 防災安全部会の取り組み .....	2 2

# I . 総論

## I-1. 目的

柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会（以下「まちづくり協議会」という）は、柏の葉キャンパス地域において、地域課題解決や街の活性化を図りながら生活環境の維持・向上に取り組むことを目的に、平成23年（2011年）7月9日に発足した。住民組織だけではなく立地機関も参画し、より幅の広い、効果的な活動を進めることを目指している。

東日本大震災後、都市生活・暮らしの安心・安全が改めて問われている。柏の葉キャンパス地域では、大規模な都市開発が日々進行し、街の姿が変わり続けており、それに応じた防災・減災の取り組みが求められる。そこで、まちづくり協議会では、会員組織や地域住民、周辺施設、行政機関等と意見交換を進めながら、大規模災害時および平常時の防災活動連携方針として、『柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会 防災基本方針』を平成24年3月に策定している。

本マニュアルは、前述の『防災基本方針』に従い、大規模災害時にまちづくり協議会の会員組織が周辺機関等と連携しながら、迅速・的確な初動対応を展開するために、緊急時・平常時の活動指針（「共助」のルールと手順）として策定したものである。

### ▼まちづくり協議会：会員組織一覧

住民組織	・柏の葉キャンパス一番街町会 ・パークシティ柏の葉キャンパス二番街町会 ・パークシティ柏の葉キャンパスザ・ゲートタワー管理組合 ・パークシティ柏の葉キャンパスブライトサイト管理組合 ・パークシティ柏の葉キャンパスサウスフロント管理組合
立地機関	・京葉銀行柏の葉キャンパス支店 ・辻仲病院柏の葉 ・ららぽーと柏の葉 ・三井不動産 ・三井不動産レジデンシャル ・三井不動産ホテルマネジメント ・柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)

令和2年11月時点

## I-2. 活動連携方針

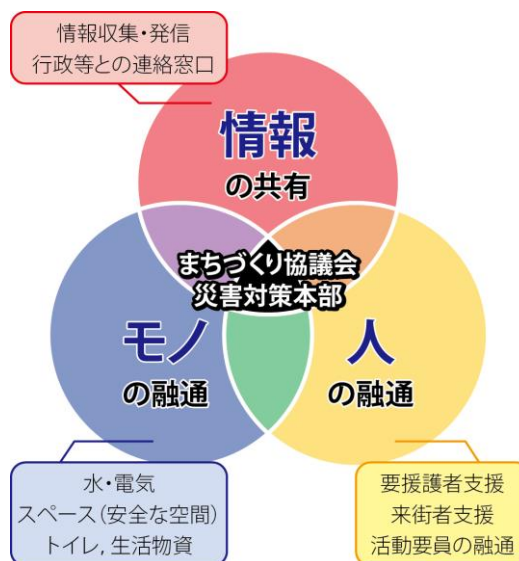
### I-2-1. 災害時の活動連携方針

#### 【方針1】各自・各組織の自助・共助を基本とする。

- ◎ 災害時対応の基本単位は「各自」「各組織」である。まずは各々で必要な対応を、各々の責任のもとに実施する。
  - 各自・各会員組織はそれぞれの責任において、「3日間（72時間）」を乗り切るための備えをしておく。

#### 【方針2】「まちづくり協議会災害対策本部」を設置し、会員組織間で臨機応変に協力し合う。

- ◎ 「まちづくり協議会災害対策本部」が緊急時の活動連携拠点となる。
  - 情報収集・発信の一元化を図り、会員組織間の相互連携調整や、行政（柏市）や周辺機関等との連絡窓口の役割を果たす。
  - 駅周辺へ集中する帰宅困難者等のパニック・混乱抑止にも協力する。



▲災害時の連携イメージ

#### 【方針3】ルールをつくって「情報」「人」「モノ」を融通しあう。

- ◎ 各会員組織がもつ防災資源を、状況に応じて融通しあう。
  - 融通のためのルールをあらかじめ決めておく。

### I-2-2. 日常の活動連携方針

#### 【方針1】防災行動力を高める、深める。

- ◎ 各会員組織の実情を尊重し、緩やかなネットワークをベースに連携体制づくりを進める。
- ◎ 都市開発の進捗に合わせて、活動計画づくりと資機材等整備を進める。
  - 定期的に本マニュアルの見直しを進め、資機材等の整備を行う。
- ◎ 組織間の情報交換・交流・連携を促進する。
  - 周辺機関との連携について検討・協議を進める。

#### 【方針2】意識を啓発する、コミュニティをつくる。

- ◎ 年2回程度、開かれた防災イベントを実施する。
  - 中心となって活動を進める人材を育成する視点を含む。
- ◎ 他のまちづくり活動に防災の視点を取り入れる。
  - マルシェコロールなど地域の活動との連携を検討する。

## Ⅱ. 緊急対応編

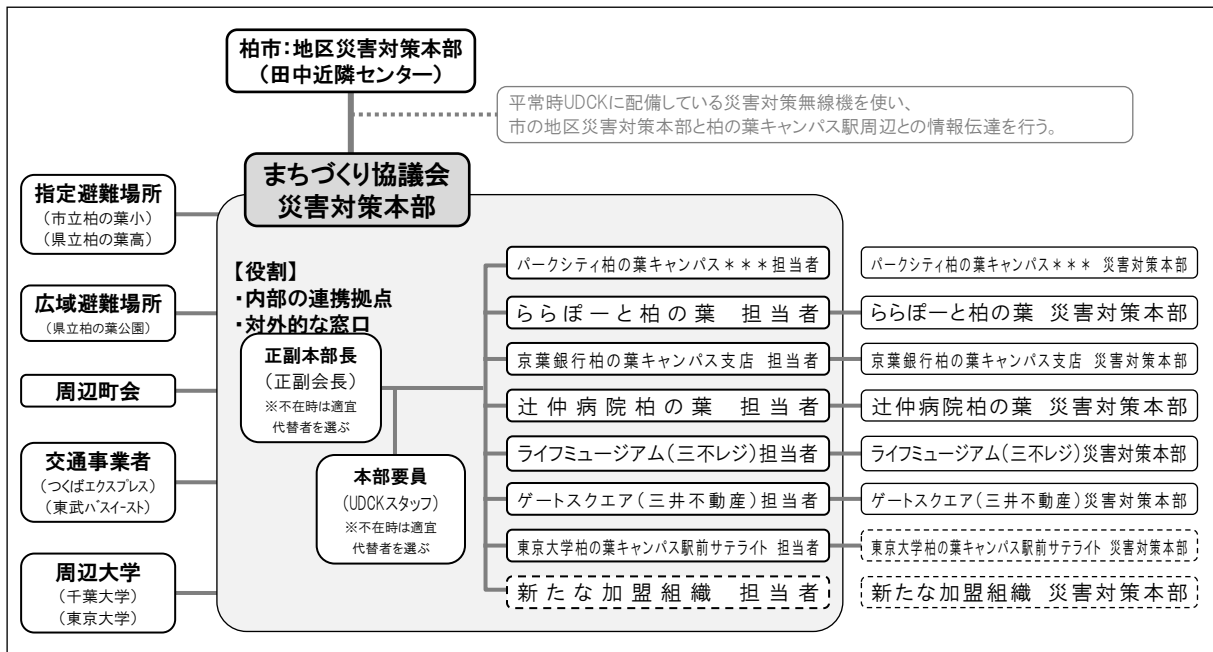
### Ⅱ-1. まちづくり協議会災害対策本部の概要

#### (1)本部の設置場所

	施設	箇所
設置場所	ゲートスクエア:ホテル&レジデンス棟	2階会議室(ルーム3)
サブ拠点	柏の葉アーバンデザインセンター	ロータリー側ラウンジ
代替場所	パークシティ一番街	ワークショッブルーム(半分)
	パークシティ二番街	ワークショッブルーム

※1 代替場所を使用するケースについてはP.8参照。

平成31年3月時点



▲災害対策本部設立イメージ(令和2年11月時点)

#### (2)本部の設置条件

- ◎ 市内で「震度5強」以上を記録したとき。
  - 震度は気象庁が発表する柏市の観測点（旭町・柏・大島田）の震度とする。
- ◎ その他の状況により本部長が必要と認めたとき。

#### (3)本部の構成員

	担当	役割
本部長	まちづくり協議会会長	本部の運営統括
本部要員	UDCK常勤スタッフ	本部に常駐し、情報収集・発信等を行う。
参集担当者	各会員組織の参集担当	本部と各会員組織との連絡窓口となる。定期的に本部に参集する。

※1 別表1参照

## II-2. 災害対策本部の活動内容(ルールと手順)

▼災害対策本部の活動フロー（昼間発災の場合）

本部運営員	各会員組織	
	参集担当者	
<b>発 災</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の安全確保</li> <li>・安否確認、消火・救出救護</li> <li>◇自施設の一時退避誘導</li> <li>◇自組織の災対本部立ち上げ</li> <li>・自施設の被害、安全確認</li> <li>・負傷者、エレベーターなど対応</li> <li>◆本部施設使用可否連絡受信</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の安全確保</li> <li>・安否確認、消火・救出救護</li> <li>◇自施設の一時退避誘導</li> <li>◇自組織の災対本部立ち上げ</li> <li>・自施設の被害、安全確認</li> <li>・負傷者、エレベーターなど対応</li> </ul>
<b>2 時 間 以 内</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者へ本部立ち上げ連絡</li> <li>・可能な範囲内で情報収集 (必要に応じ帰宅困難者対応)</li> <li>◇まち協災対本部立ち上げ</li> </ul>		◇まち協災対本部に一次参集
<b>3 時 間 以 内</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇初動対応の検討</li> <li>・被害状況等の情報共有</li> <li>・初動対応の優先順位づけ</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇本部機能の確保</li> <li>・本部用資機材等の準備</li> <li>・館内外レイアウト変更</li> <li>・本部要員の交代体制の調整</li> <li>◇情報収集・集約・連絡</li> <li>・市の地区災対本部との連絡</li> <li>・各参集担当者との連絡</li> <li>・地区内巡回(2時間おき)</li> <li>◇情報発信</li> <li>◇帰宅困難者等への対応</li> <li>◇防災資源の融通調整</li> <li>・一時待機スペース</li> <li>・使用可能トイレ ほか</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇被災生活対応</li> <li>・施設内の避難者等対応</li> <li>・ライフライン(水・トイレ等)確保</li> <li>・要援護者支援対応</li> </ul>
<b>6 時 間 以 内</b>		
◇定例会議参集(翌日14時)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇情報収集・集約・連絡(継続)</li> <li>◇情報発信(継続)</li> <li>◇防災資源の融通調整</li> <li>・活動要員の相互協力 ほか</li> </ul>		◇各種復旧対応
<b>2 4 時 間 以 内</b>		
◇定例会議参集(毎日14時)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇情報収集・集約・連絡(継続)</li> <li>◇情報発信(継続)</li> <li>◇防災資源の融通調整(継続)</li> </ul>		・防災資源の状況等随時報告
<b>7 2 時 間 以 内</b>		
↓	↓	↓

## II-2-1. 災害対策本部の立ち上げ

### (1)本部立ち上げ準備:次頁参照

- ① ゲートスクエアスタッフは、本部施設(ガーデンホテル2階会議室)の被害状況を確認後、UDCKに施設使用可否を伝える。
  - 施設の損傷状況を確認し、継続使用可能か否か、トランシーバを使用し情報伝達する。
  - ゲートスクエア防災センターの電話番号は04-7137-3160(通常、本部施設は開放されていないため)。

#### ▼施設被害状況確認箇所

躯体被害	天井・床・内壁・外壁・基礎ほか
火災被害	
ライフライン	電気・水道・電話・インターネット・トイレ

※1 系統電源が停電している場合は、非常用電源が正常に稼働しているか確認する。

- ② 本部施設が使用不可能な場合は、UDCKスタッフ(不在の場合は本部要員代替者)が、代替場所の施設管理者へ相談する。
- ③ UDCKスタッフ(不在の場合は本部要員代替者)が本部関係者へ本部立ち上げ連絡を行う。
  - [第1優先]トランシーバでの一斉発信(チャンネルは20)
  - [第2優先]LINEを通じた情報発信
  - [第3優先]Eメールでの一斉送信連絡
  - [第4優先]Twitterを通じた情報発信
  - [補完]UDCK前看板設備等への直接張り紙

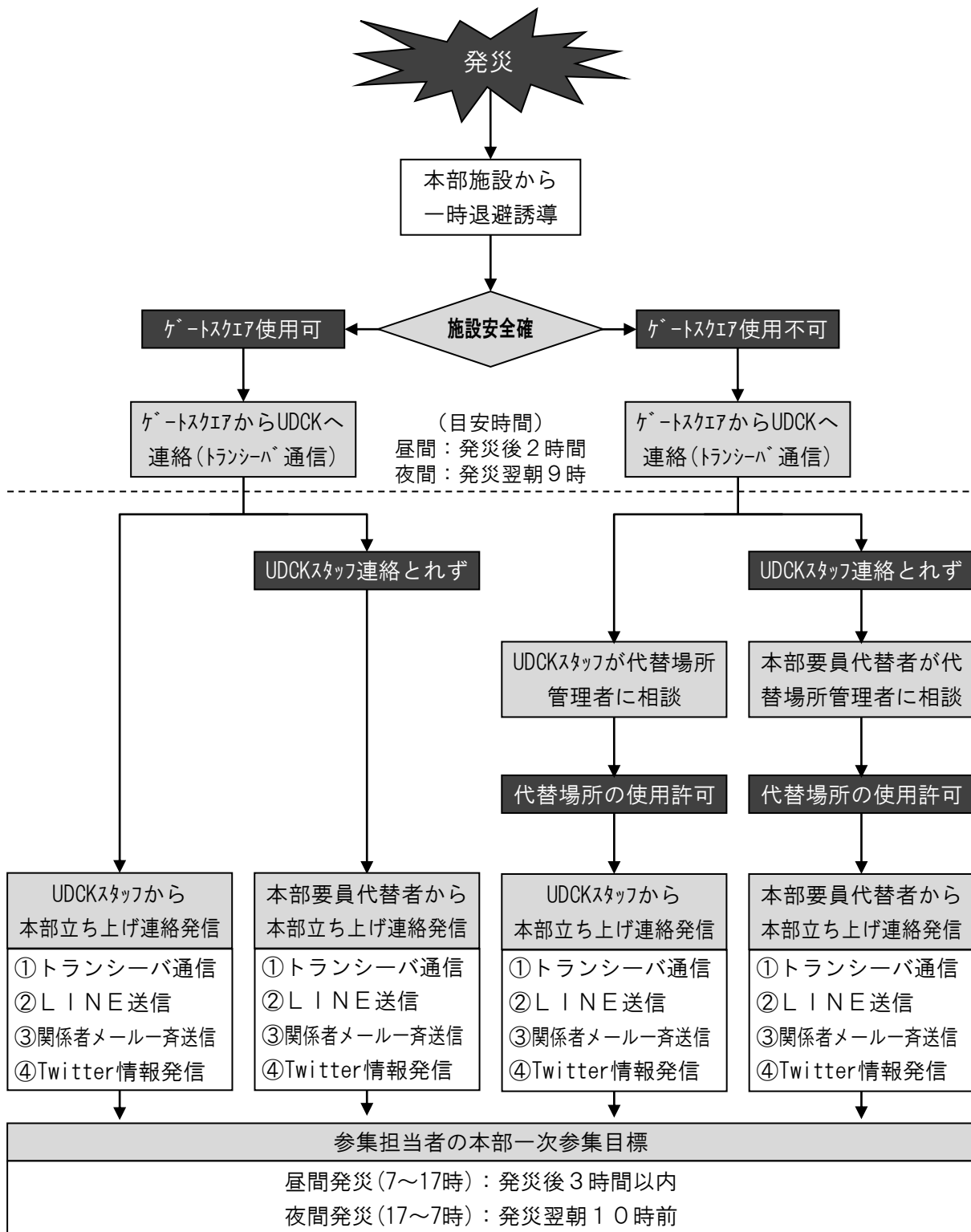
※ 携帯電話の使用は控える。
- ④ UDCKスタッフ等により、本部の立ち上げ準備を始める。
  - 各自、テレビ・ラジオ・インターネット等により出来る範囲での情報収集に努める。
  - 本部用資機材やレイアウト変更の準備を開始する。
- ⑤ 駅前等の混雑状況により、必要に応じて帰宅困難者等の対応を検討する。(☞ p.13)

### (2)本部の立ち上げ:

- ① 本部関係者は、下表の時間を目安に、本部に一次参集する。
- ② 本部長(または代行者)が災害対策本部を設置する。

昼間(7~17時)発災	発災後 3時間以内	夜間(17~7時)発災	発災翌朝 10時前
-------------	--------------	-------------	--------------

**別図1** まちづくり協議会災害対策本部立ち上げフロー





#### ■災害時の関係者LINE一斉送信手順

- ① 各自のスマートフォンからLINEアプリを開き、「柏の葉駅前まち協防災部会」グループに投稿する。
- ② 新メンバーに「柏の葉駅前まち協防災部会」グループへ参加してもらうために、随時既存メンバーは新メンバーを招待する。

#### ■災害時の関係者メール一斉送信手順

- ① WebブラウザからGmail (<https://mail.google.com/>) にログインする。

ユーザー名	kashikyo.bousai@gmail.com
-------	---------------------------

- ② 画面左上「作成」ボタンから、新規メッセージ作成画面を表示する。
- ③ 一斉送信先アドレスに下記例文を参考にメッセージを作成・送信する。

一斉送信先	kashiwanoha_machikyo_saigaiji@googlegroups.com
メッセージ (例)	柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会事務局から連絡です。 ●時●分ごろ地震が発生し、市内震度5強を記録しました。 各会員組織の担当者は協議会災害対策本部（UDCK）に一次参集してください。

- ④ 登録されている全アドレスにメッセージが一斉送信される。

#### ■災害時のTwitter 情報発信手順

- ① WebブラウザからTwitter (<https://twitter.com/>) にログインする。

ユーザー名	kashikyo_bousai
-------	-----------------

- ② 右上「ツイートする」ボタンから、新規メッセージ作成画面を表示する。
- ③ 下記例文を参考にメッセージを作成・送信する。

メッセージ (例)	柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会事務局から連絡です。 ●時●分ごろ地震が発生し、市内震度5強を記録しました。 各会員組織の担当者は協議会災害対策本部（UDCK）に一次参集してください。
--------------	--

- ④ 部会の情報発信ページ ([https://twitter.com/kashikyo\\_bousai](https://twitter.com/kashikyo_bousai)) にメッセージが掲載される。

**(1)初動対応の検討:**

- ① 本部に参集したメンバーで、地区内および広域の被害状況等を収集する。
- ② 収集・集約した情報に基づいて、実施すべき対応（優先順位づけ）を検討する。
  - 収集した情報の発信（☞ p.14）
  - 帰宅困難者・避難者の混乱防止（☞ p.16）
  - 一時待機用スペースや利用可能なトイレの案内（☞ p.17）
  - 急を要する各組織間相互支援の調整（☞ p.17）

**(2)本部機能の確保:**

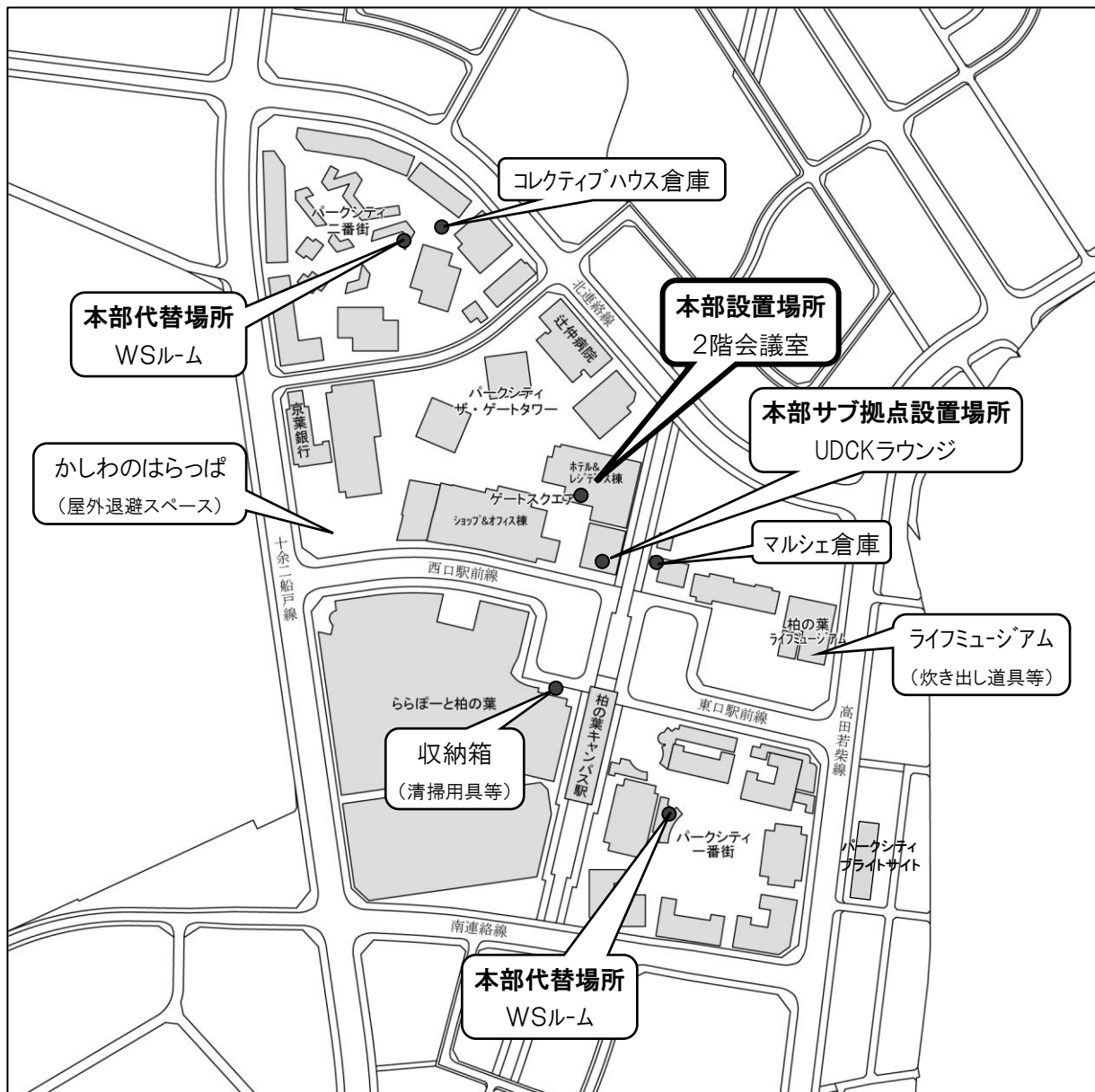
- ① 本部参集メンバーで、本部内外のレイアウト変更を行う。（別図3参照）
  - 情報掲示スペースの確保
  - 本部看板の設置（駅前のパニック・混乱防止にも必要）
- ② 本部参集メンバーで、本部用資機材等を準備する。（備品等について別表2参照）

**(3)本部運営体制の検討:**

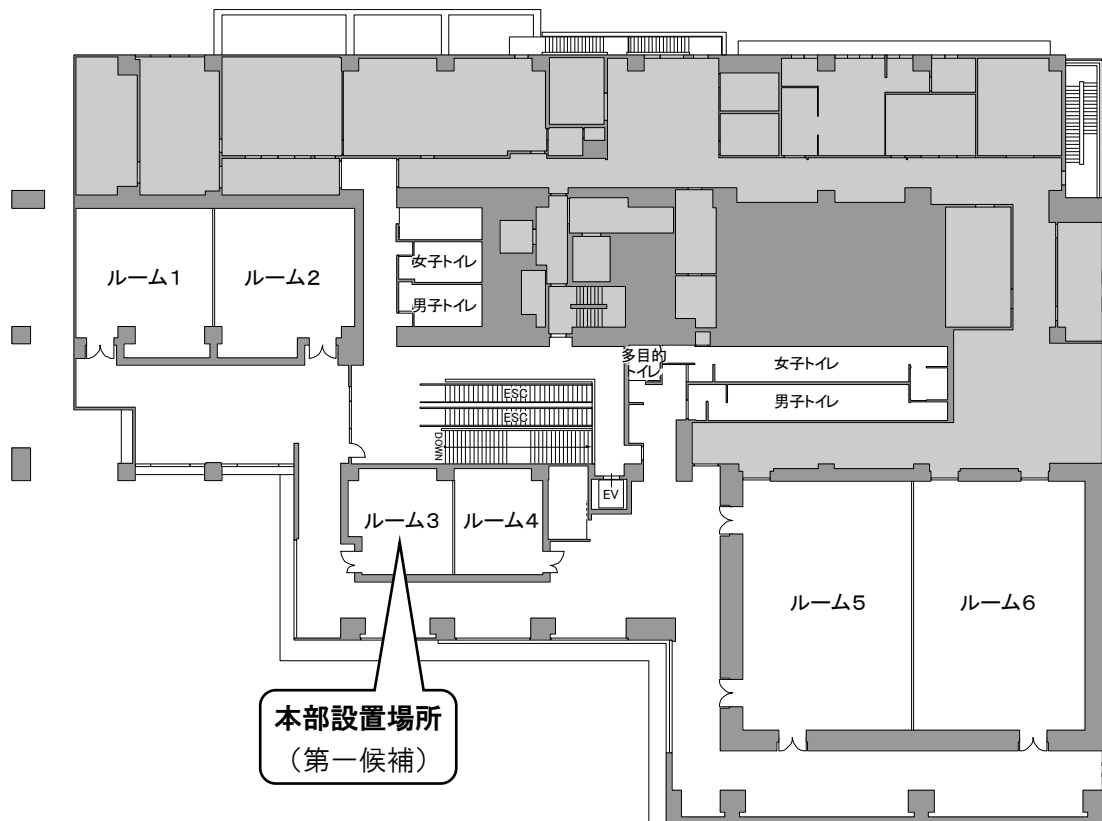
- ◎ UDCKスタッフを中心に本部参集メンバーで、本部運営員の交代体制の調整を行う。
  - UDCKスタッフのみでシフト調整が困難な場合は、各会員組織の参集担当者も含めた交代シフトを検討する。

昼間（7～17時）発災	6時間以内	夜間（17～7時）発災	翌日13時前
-------------	-------	-------------	--------

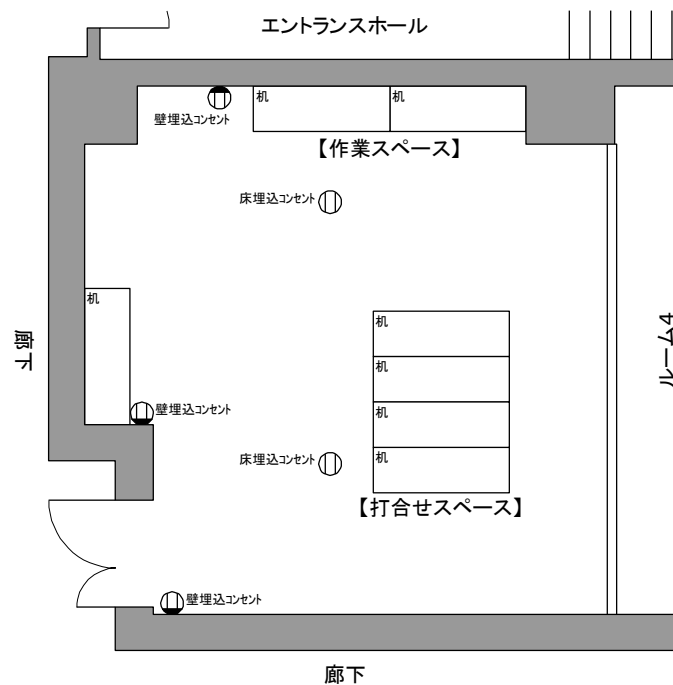
別図2 まちづくり協議会災害対策本部 関連施設分布図



**別図3** まちづくり協議会災害対策本部 使用イメージ



▲ゲートスクエア：ホテル&レジデンス棟2階平面図



▲ゲートスクエア：ホテル&レジデンス棟：ルーム3活用イメージ

別表2 まちづくり協議会 災害時活動連携用備品リスト

管理主体	項目	資機材・備品類	数量	保管場所		
				施設	箇所	鍵管理
まちづくり協議会	スタッフ目印	まちづくり協議会スタッフビブス	60	ららぽーと柏の葉	(駅前広場)収納箱	一番街/二番街/辻仲病院 三井不動産/UDCK
	通信	トランシーバ(簡易無線機)	12	各施設	(別頁参照)	—
	給食	カセットコンロ	3	ライフミュージアム		三井不動産レジデンシャル
		包丁	5			
		まな板	1			
		ゴムまな板	4			
		寸胴鍋	2			
		半寸胴鍋	1			
おたま	1					
三井不動産 (ゲートスクエア)	本部設営	ホワイトボード	適宜	ゲートスクエア	ホテル&レジデンス棟 会議室	三井不動産
		同上 筆記具	適宜			
		テーブル	適宜			
		椅子	適宜			
UDCK (イベント備品)	情報集約	立看板(ブラックボード)	30	オークビレッジ柏の葉	プロジェクトハウス倉庫	UDCK
		同上 筆記具	適宜			
	運搬	リヤカー	1	オークビレッジ柏の葉	プロジェクトハウス倉庫前	UDCK
		台車	4			
	救護・休憩	テント(4500×3000)	4	オークビレッジ柏の葉	プロジェクトハウス倉庫	UDCK
		テーブルユニット(1800×900)	20			
		テーブルユニット(900×900)	20			
	その他	旧テーブルユニット(1800×900)	4	PC二番街	コレクティブハウス倉庫	UDCK
移動用発電機		1	PC二番街	コレクティブハウス倉庫	UDCK	
延長コード(50m)	2					
UDCK	通信・受信	防災無線(市との連絡用)	1	東京大学柏の葉駅前サテライト	UDCK	UDCK

※1 上表の備品を所定の保管場所から持ち出す際には、必ず本部要員まで事前報告する。(やむを得ない場合は事後報告も可とする)

平成31年3月時点

※2 UDCK管理の市防災無線は原則としてUDCKスタッフのみ使用

(1) 収集・集約する情報:

- ◎ 会員組織および周辺地域の被害状況、支援要請（別紙1参照）
- ◎ 帰宅困難者・避難者等の発生状況
- ◎ 交通機関運行状況、公的支援の実施状況、各種復旧見通し
- ◎ 生活関連情報
  - ▶ 各組織が独自に把握した公益情報も、まちづくり協議会全体で共有する。

(2) 収集・集約方法:

- ◎ 柏市地区対策本部との無線連絡
  - ※ 専用の防災無線機をUDCKに配備済
- ◎ 各会員組織の参集担当者から収集
  - ▶ トランシーバ…下記の配置計画に沿って運用
  - ▶ 定例会議…発災翌日以降、災害対策本部関係者による定例会議を実施（14時）。
- ◎ 本部運営員の地区内巡回による目視確認…日中2時間おきに巡回
  - ▶ つくばエクスプレスほか周辺機関の状況を直接的に情報確認。
- ◎ インターネット・TV・ラジオ等からの情報収集

(3) 発信方法:

- ◎ トランシーバ（本部常設用）より各会員組織へ情報伝達。
- ◎ 貼紙・拡声器等による直接発信。
- ◎ Webによる情報発信…都内等からも柏の葉キャンパス駅前周辺の状況確認を可能に。
  - ▶ まちづくり協議会ホームページ (<http://kashikyo.wordpress.com/>)、防災部会アカウントTwitter ([https://twitter.com/kashikyo\\_bousai](https://twitter.com/kashikyo_bousai))等を適宜活用する。
  - ※ 柏の葉キャンパス駅周辺等に設置のデジタルサイネージからは、災害時にNHK放映および柏市等行政機関の情報が発信される。

▼トランシーバ配置計画（2021年3月時点）

識別信号 (機器No.)	緊急時配備場所	管理主体
100155265	まちづくり協議会本部 本部常設用	ゲートスクエア 防災センター
100155266	まちづくり協議会本部 本部運営員巡回用	ゲートスクエア 防災センター
100155267	パークシティ柏の葉キャンパス サ・ゲートタワー	パークシティ柏の葉キャンパス サ・ゲートタワー
100155268	ゲートスクエア 防災センター	ゲートスクエア 防災センター
100072274	パークシティ柏の葉キャンパス一番街	パークシティ柏の葉キャンパス一番街
100072275	パークシティ柏の葉キャンパス二番街	パークシティ柏の葉キャンパス二番街
100072276	ららぽーと柏の葉	ららぽーと柏の葉
100072277	辻仲病院柏の葉	辻仲病院柏の葉
100072278	京葉銀行柏の葉キャンパス支店	京葉銀行柏の葉キャンパス支店
100072279	三井不動産 柏の葉街づくり推進部	三井不動産 柏の葉街づくり推進部
100072280	柏の葉ライフミュージアム	三井不動産レジデンシャル
100072281	柏の葉アーバンテザインセンター(UDCK)	柏の葉アーバンテザインセンター(UDCK)
100442768	パークシティ柏の葉キャンパスプライトサイト	パークシティ柏の葉キャンパスプライトサイト
100521679	パークシティ柏の葉キャンパスサウスフロント	パークシティ柏の葉キャンパスサウスフロント

**別紙1** 柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会 災害対策本部 被害状況等報告書

年	月	日 ( )	報告時間	時	分
会員組織名：			報告者：		

■人的被害

	死亡	重症	軽傷	行方不明	計
居住者	名	名	名	名	名
従業員	名	名	名	名	名
来訪者等	名	名	名	名	名

■火災被害

発生箇所	消防通報	状況と経過
	：	
	：	
	：	

■建物・ライフライン被害

箇所		状況		
建物 躯体	天井	<input type="checkbox"/> 異常無	<input type="checkbox"/> 一部損壊	<input type="checkbox"/> 被害大
	床	<input type="checkbox"/> 異常無	<input type="checkbox"/> 一部損壊	<input type="checkbox"/> 被害大
	内壁	<input type="checkbox"/> 異常無	<input type="checkbox"/> 一部損壊	<input type="checkbox"/> 被害大
	外壁	<input type="checkbox"/> 異常無	<input type="checkbox"/> 一部損壊	<input type="checkbox"/> 被害大
ライフ ライン	電気	<input type="checkbox"/> 通電	<input type="checkbox"/> 一部停電	<input type="checkbox"/> 全停電
	(非常電源)	<input type="checkbox"/> 運転中	<input type="checkbox"/> 停止中	<input type="checkbox"/> 運転不能
	水道	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 一部断水	<input type="checkbox"/> 全断水
	ガス	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 一部不能	<input type="checkbox"/> 使用不可
	トイレ	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 一部不能	<input type="checkbox"/> 使用不可
	電話	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 一部不能	<input type="checkbox"/> 使用不可
	インターネット	<input type="checkbox"/> 使用可	<input type="checkbox"/> 一部不能	<input type="checkbox"/> 使用不可

(施設継続使用 可 ・ 不可 )

■その他特に相互協力・支援等を要する事項

※ 柏市(地区災害対策本部)、県警(駅前交番)、交通事業者(TX・東武バス)と要連携

**(1)混乱防止措置:**

- ◎ 本部要員は、駅前等に滞留している帰宅困難者等への落ち着いた行動(むやみに移動しない事)の呼びかけを行う。

**(2)駅周辺の一時的待機スペース等への誘導:**

- ◎ 開放している一時的待機スペース・使用可能トイレ等の案内を行う。(☞ p.17)

**(3)必要情報の提供:**

- ◎ 駅前等に設置されたデジタルサイネージを補完する情報を、拡声器や張り紙などを用いて直接伝達する。

▼帰宅困難者等に有益な情報

分類	項目
安否確認方法	・利用できる手段(利用方法、利用する際の留意点など)
被害状況	・震度分布 ・建物被害 ・火災被害 ・人的被害 ・ライフライン被害 など
鉄道等の公共交通機関	・路線ごとの運行状況や復旧見通し(いつまでは復旧しないという見通し) ・代替交通機関の情報 など
帰宅にあたっての注意情報	・通行不能箇所 ・火災延焼箇所 ・倒壊物・落下物による危険箇所 ・規制情報、混雑状況など
帰宅支援情報	・食料・飲料水の配給状況 ・停電・断水範囲 ・帰宅困難者等支援広場、一時滞在施設、救護所等の位置や支援内容等に関する情報など
余震情報	
気象情報	・雨、雪などの予報



**(1)一時待機スペース・使用可能トイレの融通調整：（別表3参照）**

- ① 会員組織関連施設や周辺機関の一時待機スペース・使用可能トイレの被害状況などを本部に情報集約する。
- ② 本部要員と各参集担当者がトランシーバ等で連絡をとり、各施設の使用可否を確認し、開放可能な一時待機スペース・使用可能トイレを抽出する。
- ③ 本部要員等が帰宅困難者・避難者などを開放箇所へ誘導する。（☞ p.18）
  - ※ 特定個所へ殺到しないよう、大まかな人数把握など、各開放箇所の現況把握を随時行う必要がある。

**(2)備蓄物資の融通調整：**

- ① 飲料水・食料・非常用トイレ（便袋）などの備蓄物資は各組織内での利用を優先し、まちづくり協議会としては原則、帰宅困難者等への物資の提供は行わない。
  - まちづくり協議会災害対策本部は公的支援の情報提供を最優先する。
  - ※ 各組織の自己責任による物資提供は妨げない。
- ② 備蓄物資に損害などが生じた場合などは、その損害状況を本部に情報集約する。
- ③ 本部要員と参集担当者がトランシーバ等で連絡をとり、融通可能な備蓄物資を抽出する。
- ④ まちづくり協議会関係者が協力しながら備蓄物資融通（運搬等）を行う。

**(3)井戸水の融通調整：**

井戸設備管理者	融通方針	融通条件
辻仲病院 柏の葉	・患者優先のため融通しない。	—
ららぽーと 柏の葉	・条件によって融通を調整する。	・市営上水道の断水。 ※ポンプ設備等が駆動するためには、系統電源もしくは非常用電源が正常稼働している必要がある。

平成25年10月時点

- ① 井戸水の融通が必要な事態が生じた場合、本部要員がトランシーバ連絡を通じて井戸設備管理者に連絡する。
- ② 給水オペレーション…取水量は井戸管理者の指定に従う。
  - 管理者（または代理者）が開栓・閉栓を行う。
  - 利用者は容器を持参し、管理者（または代理者）が立ち会いのもと給水し、提供を受けた井戸水を自ら持ち帰る。

**(4)活動人員の相互協力調整：**

- ① 活動要員不足で、防災対応が実施困難となった場合は、本部に情報集約する。
- ② 本部要員と参集担当者がトランシーバ等で連絡をとりながら、活動要員不足の組織に対して、支援可能な組織から活動要員を派遣できるよう調整する。

**【参考】電気の融通：**

- ※ 災害時に活用可能な電源を用いた街区間電力融通については、状況を見て三井不動産の判断により実施する。融通の可否や実施に係る情報を三井不動産の担当から本部に連絡する。

**別表3** 帰宅困難者等への一時待機スペース・トイレの開放方針一覧

施設名	開放対象	一時待機スペース		トイレ		備蓄物	備考
		箇所	特記事項	箇所	特記事項		
まちづくり協議会 会員組織の 関連施設	パクシティ柏の葉キャンパス一番街	・ワークショップルーム(半分)	※居住者の一時退避を優先	・コミュニケーション棟内トイレ			
	パクシティ柏の葉キャンパス二番街	・パーティラウンジ(30人)	※居住者の一時退避を優先				
		・コミュニティスペース(30人)	※居住者の一時退避を優先	・コモンC棟B1階(男1・女1)			
		・ラボ(20人)	※居住者の一時退避を優先	・コミュニティスペーストイレ(1)			
				・管理センター(男1・女1)			
	京葉銀行柏の葉キャンパス支店	—	※原則不可だが状況により対応検討	—	※原則不可だが状況により対応検討		
	辻仲病院柏の葉	・8階カフェ(50名)	※患者優先	・8階トイレ(男1・女1)			
		・2階外来待合(100名)	※患者優先 ※トリアージスポットの可能性あり <b>再調整</b>	・2階共用トイレ(男2・女3・車椅子1)			
				・1階共用トイレ(男2・女3・車椅子1)			
	ららぽーと柏の葉	(・1階東急ストア前～駐車場まで)	※原則不可だが状況により対応検討	(・1階駐車場側トイレ)	※原則不可だが状況により対応検討		
柏の葉ライフミュージアム (三不レゾ社 販売センター)	・エントランスホール(20㎡:20人)	※日月火金土のみ(水木:休館日) ※9:00～18:00	・お客様用トイレ	※日月火金土のみ(水木:休館日) ※9:00～18:00			
	・2階展示スペース(100㎡:50人)						
ゲートスクエア ホテル&レジデンス棟	・ホール&カンファレンス(約1,000人)	※館内利用者の一時退避を優先	・H&C内一般用トイレ	※館内利用者の一時退避を優先			
ゲートスクエア ショップ&オフィス棟	・かしわのはらっぱ(約600人)	※館内利用者の一時退避を優先	(・H&C内一般用トイレ)	※館内利用者の一時退避を優先			
その他の 駅周辺	東京大学駅前サテライト						
	千葉大学柏の葉キャンパス						
	オークヒルレジデンス柏の葉						
	(市)柏の葉小学校						市指定避難場所

	(県)柏の葉高校						市指定避難場所
	(県)柏の葉公園						市広域避難場所

平成31年1月時点

(1) 柏市地区災害対策本部(田中近隣センター)との連携

◎ U D C Kに配備済の専用無線機を通じて連絡を行う。

(2) 周辺町会との連携 <今後の検討課題>

- ※ 市の指定避難所となる「柏の葉小学校」などでの周辺町会・自治会との連携窓口
- ※ 「田中地域ふるさと協議会」との連携関係
- ※ 組織間連携による災害時要援護者の支援

(3) 周辺機関との連携 <今後の検討課題>

※ 駅前交番（警察）、交通事業者（TX、東武バスなど）、東大・千葉大との連絡体制。

▼ 周辺機関等の連絡窓口

機関	窓口担当部局等	連絡先
柏市	総務部防災安全課	
	田中地区災害対策本部	
指定避難場所等	柏の葉小学校	
	柏の葉高校	
	柏の葉公園	
周辺地域組織	田中地域ふるさと協議会	
千葉県警	柏の葉キャンパス駅前交番	
つくばエクスプレス		
東武バス		
東京大学(柏)		
千葉大学		

# Ⅲ. 日常活動編

## Ⅲ-1. 防災安全部会の位置づけ

- ◎ 各会員組織の実情を尊重し、緩やかに活動連携するネットワーク母体として、まちづくり協議会に「防災安全部会」を置く。
  - まちづくり協議会役員会の統括のもと、各会員組織の防災担当等により組織し、平常時より継続的に防災活動連携を進めていく。

## Ⅲ-2. 防災安全部会の取り組み

### (1)活動計画づくり:

- ◎ 都市開発の進捗や、まちづくり協議会への新規組織加入などに合わせて、本マニュアルの見直し・更新作業を随時進めていく。

### (2)資機材等の整備

- ◎ 活動連携を進めるために必要な資機材等の整備を進める。
  - トランシーバなどの備品購入・維持管理計画を毎年度作成し、まちづくり協議会役員会に提案する。
  - 「まちの防災倉庫」の整備に関する検討を行う。

### (3)各組織間の情報交換・連携の促進

- ◎ 周辺機関等との連携について検討・協議を進める。
  - 行政…柏市（防災安全課）
  - 警察…千葉県警（駅前交番）
  - 交通事業者…TX、東武バス
  - 周辺地域組織…周辺町会、田中地域ふるさと協議会
  - その他周辺機関…東京大学、千葉大学
- ◎ 会員組織等の連携に基づく合同訓練・研修を企画・実施する。
  - 災害対策本部設置・運営シミュレーション
  - 講演会やシンポジウム、公開型ワークショップなど

### (4)普及・啓発の取り組み

- ◎ 防災意識の普及・啓発および地域住民の交流促進を目的に、開かれた防災イベント「柏の葉キャンパス防災ひろば」を年2回程度実施する。
  - 応急処置や炊き出し等の体験や、講習ビデオ上映など
    - ※ マルシェコロールなど既往の地域交流イベントとの積極的な連携

**別表4** 防災安全部会にて管理するメールサービス等

## ■日常連絡用メーリングリスト

アドレス	kashiwanoha_machikyo_bousai@googlegroups.com	
概要	登録者全員が登録者全体へメール投稿可能	
管理者 (メールアドレス)	kashikyo.bousai@gmail.com	パスワード 1s1w7n9h

## ■災害時一斉送信用メーリングリスト

アドレス	kashiwanoha_machikyo_saigaiji@googlegroups.com	
概要	管理者のみ登録者全体へメール投稿可能	
管理者 (メールアドレス)	kashikyo.bousai@gmail.com	パスワード 1s1w7n9h

## ■災害時など情報発信用 Twitter アカウント

URL	<a href="https://twitter.com/kashikyo_bousai">https://twitter.com/kashikyo_bousai</a>	
概要	管理者が Web 上へ不特定多数に情報発信	
管理者 (ユーザー名)	kashikyo_bousai	パスワード 1s1w7n9h

## 別紙3

### 柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会 防災安全部会 設置運営要領

平成25年 月 日

#### 目 的

柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会（以下「まちづくり協議会」という。）が、組織間の連携を高め、相互の連絡調整を図ることにより、地域の防災体制の充実強化に寄与することを目的に、防災安全部会（以下「部会」という。）を設置する。

#### 活 動

部会は、前掲の目的を達成するため、『柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会：防災活動連携マニュアル』に基づいて、次の事項について活動を行う。

- （1）防災活動の相互連携・連絡調整に関する事項。
- （2）合同防災訓練の実施に関する事項。
- （3）防災知識の普及・啓発に関する事項。
- （4）その他地域防災力向上に資する事項。

#### 組 織

1. 部会は、まちづくり協議会の会員組織に所属する者で構成する。
2. 部会に部会長を置く。なお部会長は、部会構成員の互選により選任する。

#### 会議等

1. 部会の会議等は、部会長が招集する。
2. 部会長は、必要に応じて、学識経験者や行政担当者など部会構成員以外の者をアドバイザーとして部会の活動に協力させることができる。
3. 会議費など基本的な経費は、まちづくり協議会が負担する。

#### 報 告

1. 部会長は、活動成果等をまちづくり協議会の会員に報告しなければならない。
2. 報告書等は、まちづくり協議会が必要に応じて印刷等を行い、会員及び関係機関等に配布する。

#### その他

この要領に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が別に定める。